

■はじめに

最近、新聞やニュースで「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」が頻繁に取り上げられ、社会的な関心が高まっています。これら、福祉や環境などのさまざまな分野で、社会貢献を目的とした活動が活発になり、市民と行政との協働による、まちづくりがクローズアップされるようになりました。

現在、志木市では、「安心・安全で、夢のある、明るい志木市」を実現するため、第四次志木市総合振興計画の将来都市像に「みんなで創る、みんなのふるさと、輝く志木市」と掲げているとおり、地域に暮らす市民と行政が一体となったまちづくりを進めています。

また、変革の時代に対応できる行財政システムを確立するため、「志木市行財政再生プラン」を策定し、市が取り組むべき課題を示しました。この「市民協働のまちづくり推進指針」は、行財政再生プランの取組項目の一つとして掲げた「市民協働等の推進」を図るためのとるべき方向や方法を示したものです。

志木市における市民と行政の協働は、これまでも盛んに行われてきましたが、協働を進めるためのルールがありませんでした。この指針は、協働の仕組と基本的なルールを定めることで協働の機会を増やし、より一層効果的に行うために決めました。

この指針によって、みなさんが協働の第一歩を踏みだすきっかけとなり、市民協働を今よりも推進していくことで、志木市らしいまちづくりへ発展していくことを願っています。